

## 平成25年10月19日（土）の「仏教女性の集い」

数日前には真夏日でしたが、昨日からはぐっと秋が進み肌寒さを通り越した感があります。いい気候だと感じる日々が短いようですね。体調を壊さないようにするのも大変です。皆様もお身体、お気をつけ下さい。



今月の尼層道場跡地にはすすきが広がりホトトギスがたくさんの花をつけていました。



供花はすすき・ホトトギス・白菊

同唱十念で始まるお話。

今月の御法話は、法然上人御法語後編 第23「慈悲加祐」

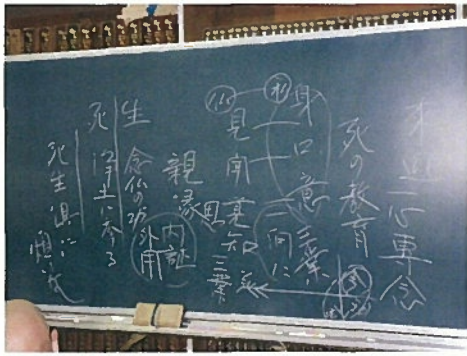
—参加者感想—

これは「太胡太郎へつかわすお返事」です。

前回の「退縁悪知識」は「正如房へつかわす御文」でしたが、法然上人はいずれの機会にもお念仏を申す事の有り難さ・大切さ・正しさを判りやすく説明されています。

そして近藤先生もより判りやすく解説を加えながら、いつも身近にいて「私と繋がっていて下さる阿弥陀様」とお念仏を申す心のありようについてお話し下さいました。

「誰でも（子供でさえ言える）申す事の出来る南無阿弥陀仏なので人々は軽く考えがちだが、一つ一つのお念仏が積もって功が積もって行く。臨終念仏だけでよいと考えるのは心得違い。平素によくよく申す念仏により仏様は来て下さる」また「自分の三業（身・口・意）で仏様に伝わっているか、目には見えないが、私と仏様の三業により親縁に繋がっている。善導大師も、念仏を申している時は仏様と心が一つになっていると言われている。臨終の時に念仏を申す事が出来ないかも知れないが常に申していると煩くない。今しか無い、一寸先は闇ですよ」と。



近藤先生の板書



お写経風景



お茶菓子は「万寿菊」



お抹茶を頂かれる先生方

お茶を頂いた後のお話では、「仏の身・口・意」について。  
仏は業力が強いので、こちらが思う以前にあちらから働きかけて下さっている。人は生きているのではなく生かされている。何事も頑張るではなく頑張らせていただける。すると心に余裕が生まれる。判らない事がある事が判るようになります。とお話しされていました。

参加者 K. I

次回の「仏教女性の集い」は11月16日です。

「仏教女性の集い」は毎月第3土曜日、1時～4時

参加費 1,000 円 宗教・宗派は問いません。

条件は女性であることだけです。

多数のご参加お待ちしております。

市バス[知恩院前]下車、東へ徒歩 150m

『吉水尼僧庵』(旧尼僧道場)で開催致しております。

「仏教女性の集い」の様子は浄土宗吉水会のホームページに掲載致しております。

<http://jodo.or.jp/yoshimizu/tudo.html>

問い合わせは 隆彦院 075-561-7581 まで